第2回まちづくりウォーキング

宮前区まちづくり協議会 まちづくりウォーキング部会

4月19日第23回まちづくりウォーキングが行われた。

あってまち歩きには丁度良い。 局の方と委員の面々が加わり、枡形山に向った。新緑の美しい時だが、暑いという程でもなく少し雲が 一田緑地東ロビジターセンターに 13 時集合、渡辺部会長の挨拶を受け出発!参加者は 18





見られる。ここはその昔、源頼朝が幕府を開いたころ、稲毛三郎重成が小さな山城を築いたところだ。 句碑があった。堂々たる筆跡である。 などと名付けられ観光資源になっていたっけ…。公園の片隅に「馬場あともやかたのあとも秋の風」との いつの代も強いものに絡みついて生きていくのだと。なる程、まさに藤原一族がそうであった。"飛龍の藤, を旅した折、かなりの大木にからみつきその樹を紫色に染めていたのが藤だった。連れの方が言った。藤は 一巡すると高い樹の上の方に紫色の花が房を垂らしている。藤だ。その生命力を思わされる。以前東北 枡形山は急な崖に囲まれているが、山頂は平らで展望台から四方を見ると遠くスカイツリ などが





コイヤの林である。左側に関東ローム層慰霊碑が立つ。 97 年 11 月 11 日科学技術庁が行った地層崩壊の 実験中に予想外の土砂崩れが起り15名が亡くなった。 来た道とは違った道を下って生田緑地内に入った。緑の続く広場を進むとまっすぐに伸びる大木メタセ

・知らざりき 地層の崩壊調べんとして崩壊に遭いし人らを

その右奥にはまさに奥の池があり、ググー、ググーと鳴くカエルの声が辛い

幸せである。 らぬ草々の中に金蘭を見つけた時は心躍った。山つつじや著莪の咲き乱れるのを見られるのはこの時期の 頭上から初鶯を聞いた。まだ鳴き声が幼いようである。山道には季節の植物が散見される。名も知





いを愛でて暮らして行けるのは羨ましいがそれを維持することは大変である。 明する男性は、これらに関わることの楽しさを語った。ここに育つ子供達の幸せを想う。その時々の移ろ が舞い、少し後には親子連れがかぶと虫を採集できると。田には水がはられ田植えが待たれる様子、説 水生植物鑑賞池は残念ながら花はない。とんもり谷戸に向う。土地の方に説明を戴く。初夏には蛍





がらの今回のまち歩きであった。 千利休が活躍した時代にはすでに村の人達とこの地を守っていたのであろう。宮前区の奥深さを想いな 最後の見学、本遠寺へ向う。住職さんに寺の由来を伺う。天正 10年の建立というから、豊臣秀吉や

近くのコンビニまで歩いてアンケー トを集めて解散!四時。皆さんお疲れ様でした。 (河又記)